

令和2年度学校自己評価報告書

学校自己評価について

<教育理念>

整備士教育を通して 自動車産業の発展と 車社会の安全に貢献する

<教育方針>

人格を形成し 技術と人間性を兼ね備えた社会人を育てる

<教育スローガン>

プロ意識をもち 時代に即応した技術の習得

整備士国家試験100%合格

卒業時における100%就職

本校では上記「教育理念」「教育方針」「教育スローガン」のもと学校運営、生徒の教育に日々努めております。

また、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を基とした学校自己評価に毎年取り組みを行い、現状の把握及び今後の課題改善に取り組み、実施しております。

<令和2年度学校自己評価>

●学校自己評価委員会

委員長 理事長・校長

委員 理事、理事長室室長、副校長、学務室長、教頭2名

●対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

●実施方法

- ・学校自己評価委員会を中心に職員全員による評価を実施。
- ・評価項目は「専修学校における学校評価ガイドライン」を基とする項目で実施。
- ・評価は年1回年度末に実施。
- ・結果の公表はホームページに掲載する。

下記は令和2年度学校自己評価の結果です

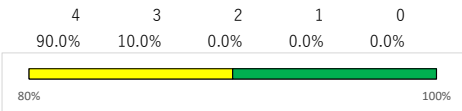
令和2年度 学校評価結果

4：適切 3：ほぼ適切
2：やや不適切 1：不適切 0：未記入

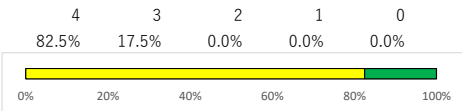
職員評価

項目 1 教育理念・目標

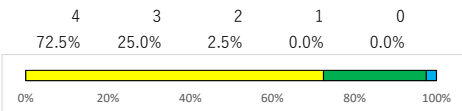
学校の理念・目標・育成人材像は定められているか。



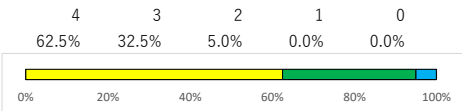
学校における職業教育の特色が示されているか。



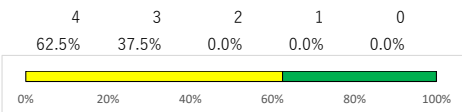
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか



学校の理念・自的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか

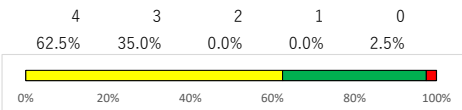


各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか



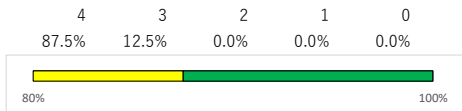
項目 2 学校運営

目的などに沿った運営方針が策定されているか。

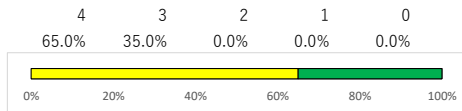


項目 5 学生支援

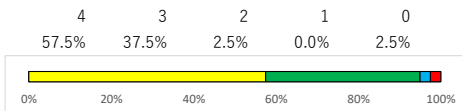
進路・就職に関する支援体制を整備されているか



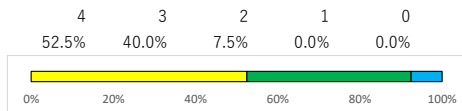
学生相談に関する体制は整備されているか



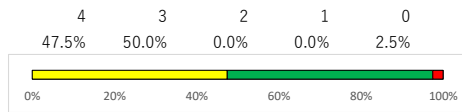
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか



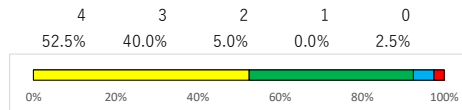
学生の健康管理を担う組織体制はあるか



課外活動に対する支援体制は整備されているか



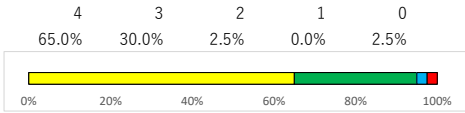
学生の生活環境への支援は行われているか



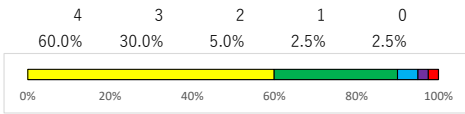
保護者と適切に連携しているか



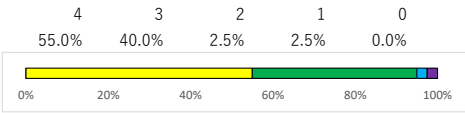
運営方針に沿った事業計画が策定されているか



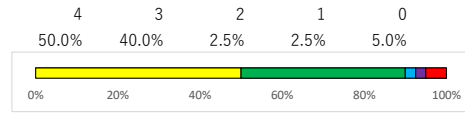
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか



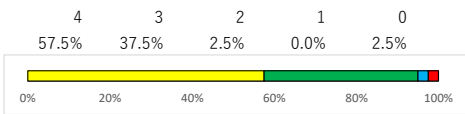
人事、給与に関する規程等は整備されているか



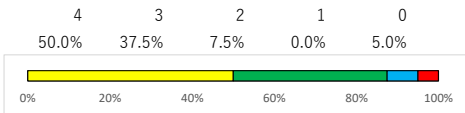
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか



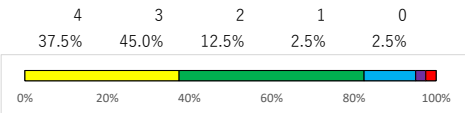
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか



教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

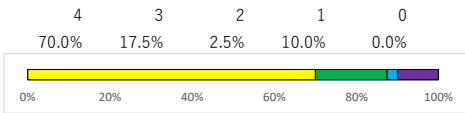


情報システム化等による業務の効率化が図られているか

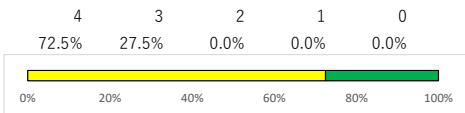


項目 3 教育活動

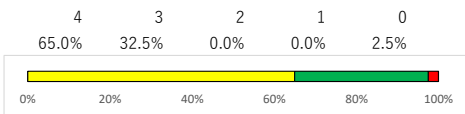
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか



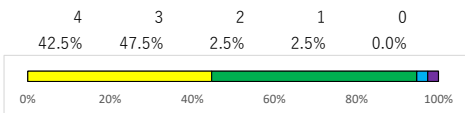
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか



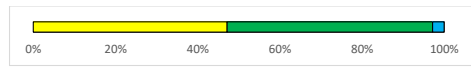
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか



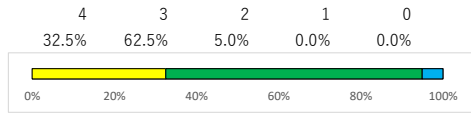
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか



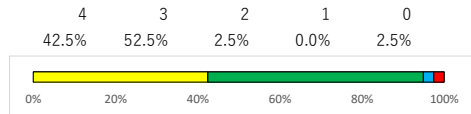
関連分野の企集・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか



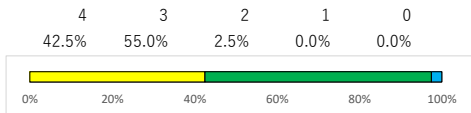
卒業生への支援体制はあるか



社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

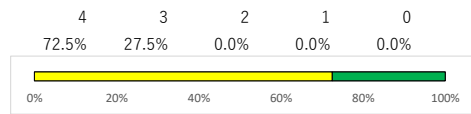


高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

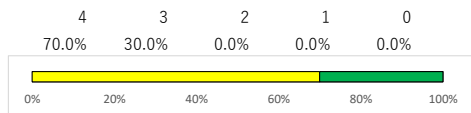


項目 6 教育環境

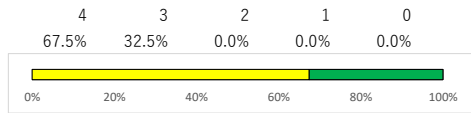
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか



学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

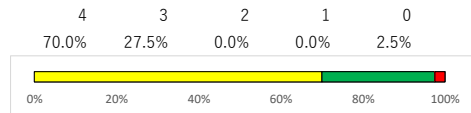


防災に対する体制は整備されているか

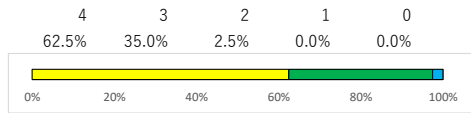


項目 7 学生の受入れ募集

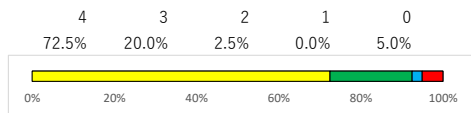
学生募集活動は、適正に行われているか



学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか



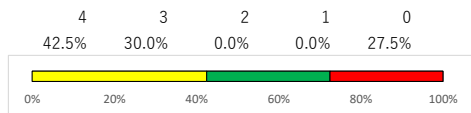
学納金は妥当なものとなっているか

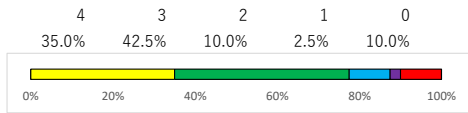


項目 8 財務

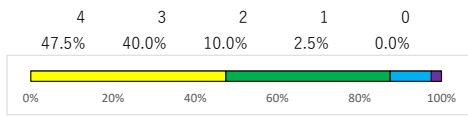
財務

中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

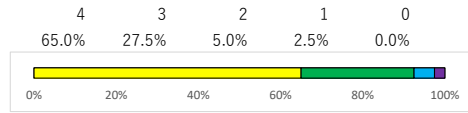




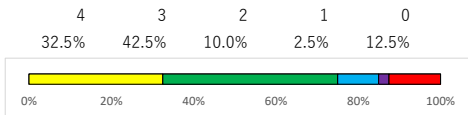
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか



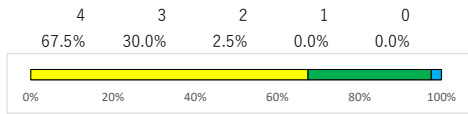
授業評価の実施・評価体制はあるか



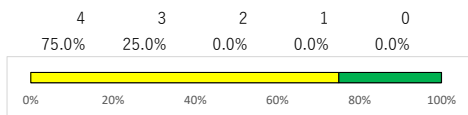
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか



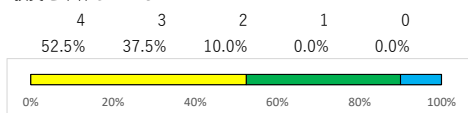
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか



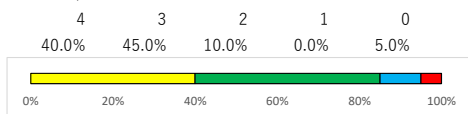
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか



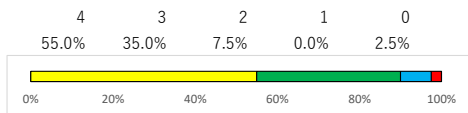
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか



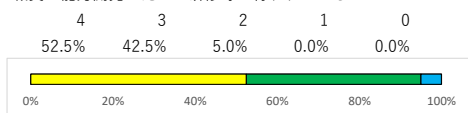
関係分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか



関係分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

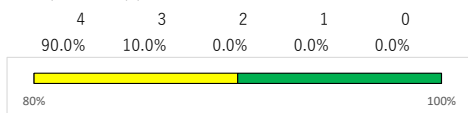


職員の能力開発のための研修等が行われているか

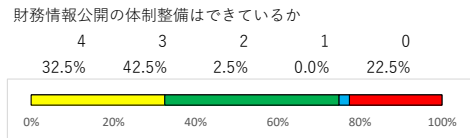
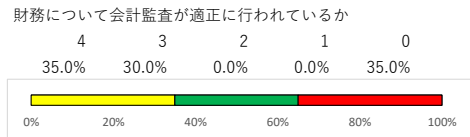
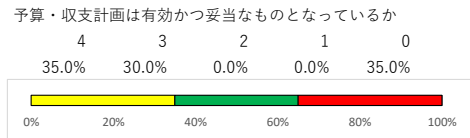
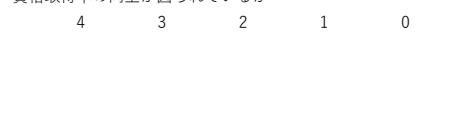


項目 4 学修成果

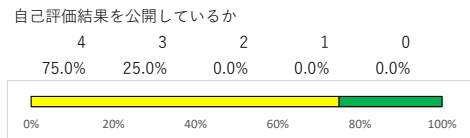
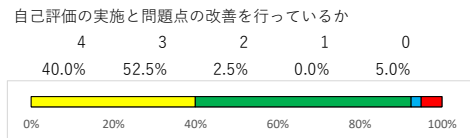
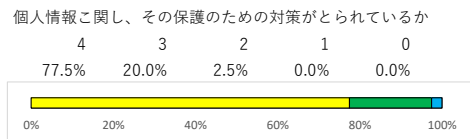
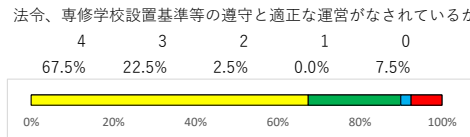
就職率の向上が図られているか



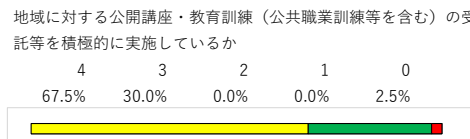
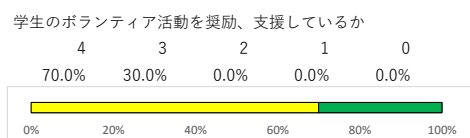
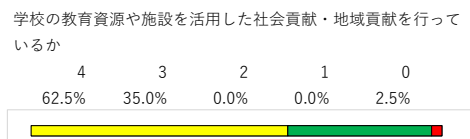
資格取得率の向上が図られているか



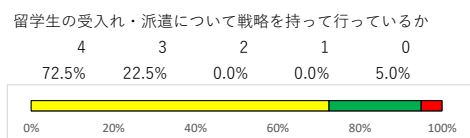
項目 9 法令等の遵守

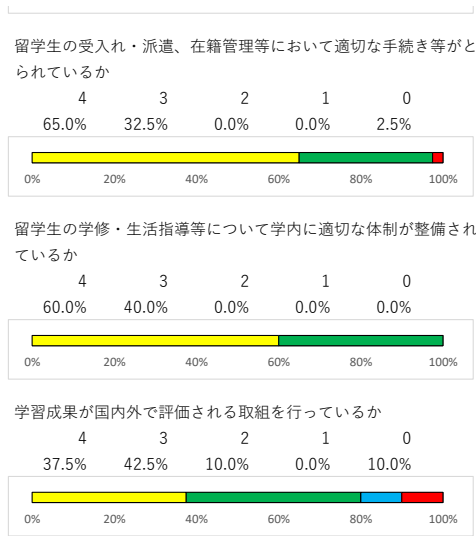
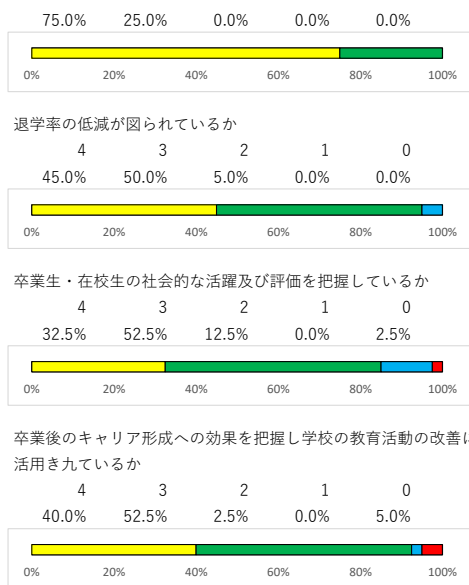


項目 10 社会貢献・地域貢献



項目 11





令和2年度学校自己評価に対する現状及び課題と今後の取り組み

1. 教育理念・目標

・現状及び課題

学校の理念、方針、目標等については創立時から確立されているが、時代の変化が速く著しいので、これらの状況をも踏まえて、時代に適応できる「社会性」を身につけさせていく必要性がより高まってきている。従ってこれらに的確に対処出来るよう今後とも職員の意識向上を図らなければならない。

・今後の取り組み

教育の基本である、人格の形成や必要な知識を身に付けさせる為には、指導する職員に対する意識改革を図らなければならない。その為、幹部会議等を定期的に開催し、資質向上に努める等、学校全体のレベルアップに取り組んでいく。

2. 学校運営

・現状及び課題

運営の基本となる内部規則等が整備されており、これらに基づき諸業務が遂行されている。内外の変化に対しても学校全体として取り組み成果を挙げているが、今後は組織全体として一人ひとりが実力を身に付けるべく研鑽を図っていかなければならない。

・今後の取り組み

運営方針等組織を構成する職員個々に徹底させていく為には、牽引していく幹部職員の研修や教育等を確実に実施していく。更に平素より問題意識を共有するなどして、より良い、信頼される運営に努める。

3. 教育活動

・現状及び課題

基本となるカリキュラム等は規定に明示して実践している。また、企業や業界団体等との連携を図りながら時代の要請に応えられる学生の育成に努めている。

今後進展のテンポが加速する自動車業界に適応出来る様に職員指導を徹底していく必要がある。

・今後の取り組み

ハード、ソフト両面と併せ、中核となる職員の資質向上、スキルアップを恒常的に実施していく。これらを確実に実践していくことにより、社会的な期待や業界のニーズに応えられる様に体制確立を図っていく。

4. 学修成果

・現状及び課題

時代の変化に伴い、企業が求める人材も多様化してきているので、内部の指導体制も整備強化を図り、学生のサポートを組織としてバックアップすることにより退学率の低減に努め、一層の充実を図る。

・今後の取り組み

学生の構成は日本人、留学生が拮抗している状況にあることから、人間関係、金銭問題等様々な問題が派生する可能性を考え、早期に兆候を把握して対応する等、日常の目配り、気配りを継続的に実施していく。

5. 学生支援

・現状及び課題

平素の学生指導を通じてニーズを把握するよう努めている。また、学内の進路指導部は常にオープンにして相談しやすい環境整備に努めている。将来を展望した就職先企業の開拓も行っている。生活面では学生寮を大幅に増やして、物心両面の支援を実施している。

・今後の取り組み

学生を支える体制、活動も整っているが、保護者の要望等も多種多様になってきているので今後とも緊密な連携を図りながらよりきめ細かい支援が出来る様に、職員の意識改革を図っていく。

6. 教育環境

・現状及び課題

学校の教育施設は基準を充分満たしており、社会のニーズにも沿っている。また、インターンシップ活動は企業連携のもと実施して成果を挙げている。最近頻発している地震等の災害対策も訓練を定期的にも実施し非常時備えている。

・今後の取り組み

自動車産業の進歩、変化が著しいことから、これらに対応出来る教育設備等の充実を中、長期的計画で推進し、常に社会のニーズに応えられる様にしていく。学生定員や留学生比率も検討を進めていく必要がある。

7. 学生の受け入れ状況

・現状及び課題

18歳人口の減少等厳しい環境下にあるが、車社会の進展に伴い人材輩出はむしろ大きな要請となってきたことから、広報活動を更に強化するとともに、企業推薦制度等を活用するなど継続的な募集活動を展開していく必要がある。

・今後の取り組み

現在ほぼ同数に近い日本人学生、留学生の割合は堅持しつつ、幅広い年齢層にも門戸を開いて社会の要請に応えられる様、工夫を重ねていく。

8. 財務

・現状及び課題

本校の財務は規定に基づき、理事会、評議委員会での決算、予算編成が実施されており、また、公認会計士による監査も行われ、適正な評価を得ていることから今後も引き続き公正な経理処理を実施していく。

・今後の取り組み

今後入学者数の減少も予想されることから、変化に対応出来る収支バランスを考慮するとともに、無駄の削減等に努めて財務体質の強化を図っていく。

9. 法令等の遵守

・現状及び課題

諸業務や報告等は法令に基づいて適正に遂行されている。情報管理はパソコンのパスワード設定を厳格に行っている。また、自己評価については教職員、学生、保護者のアンケートを踏まえ当校運営に反映されている。

・今後の取り組み

法令順守は教育機関としては重要な要素であることから、職員に対する周知の徹底を図っていく。また、個人情報の保護管理は更なる注意喚起を促しながら継続実施していく。

10. 社会貢献・地域貢献

・現状及び課題

学校施設の業界、地域活動、講演会等の申し出に積極的に貸し出しを行っている。中学生の職場体験は県内外を問わず引き受けており、理解を深めることにつながっている。また、地域活動は清掃活動等を積極的に実施し相互理解を深めている。

・今後の取り組み

恒常的に行っている活動を理解してもらう為にも学生指導を一層強化して、騒音問題や環境問題が派生しない様、目配り、気配りをしながら共存共栄出来る体制作りを努めていく。

11. 国際交流

・現状及び課題

学生全体の半分近くが留学生であることから、日本人学生との交流を効果的に推進する一方、日本における生活習慣等を分かりやすく指導する等相互理解が進展する様体制強化を図っていく。

・今後の取り組み

今後の学生の比率は予想し難い面もあるが、変化に的確に対応出来る受入れ体制、指導体制を強化した信頼される学校の構築に努めていく。

生徒及び保護者による学校評価について

本校では生徒及び保護者にも学校評価を依頼し、今後の学校運営、教育活動に役立ててまいります。

下記は令和2年度の学生、保護者の学校評価の結果です。

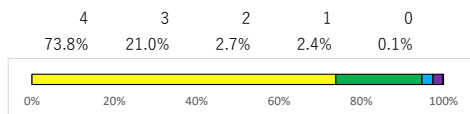
令和2年度 学校評価結果

対象学生：全学生 711名

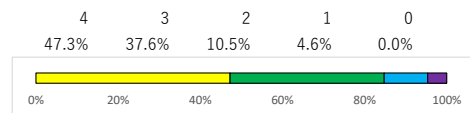
4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない
1：そう思わない 0：わからない(未記入)

学生評価

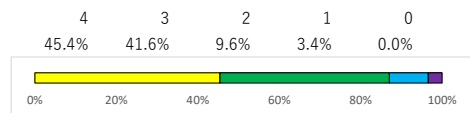
項目 1 様々な資格を取得するための体制が整っていると思う。



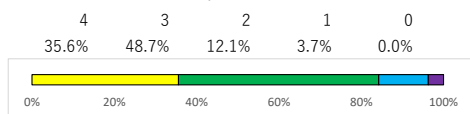
項目 2 先生は、授業で理解出来ない所を解るまで丁寧に教えてくれる。



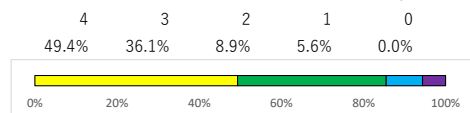
項目 3 先生は、授業に関心や意欲を高める授業を目指して工夫してくれる。



項目 4 先生の授業は分かりやすい。



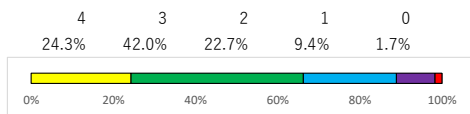
項目 5 授業で使用する教科書・プリントなどは分かりやすい。



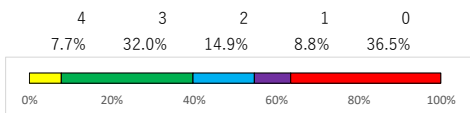
項目 6 授業の進み方は適切である。

保護者評価

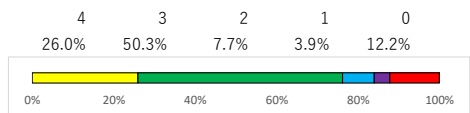
項目 1 学校は、学生の学習や活動について保護者への連絡を行なっている。



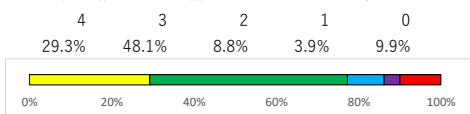
項目 2 学校は、日常の教育に保護者の要望を取り入れてくれる。



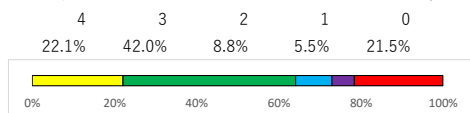
項目 3 学校は、学校指導が充実しており学力向上に十分な成果を挙げている。



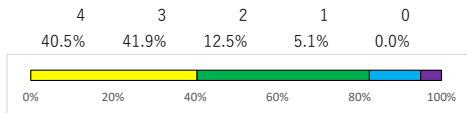
項目 4 学校は、進路に関する連絡や情報を行なっている。



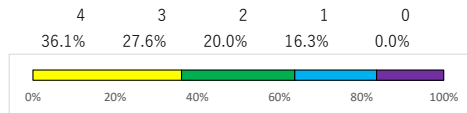
項目 5 学校は、学生の実態に応じた適切な生徒指導を行っている。



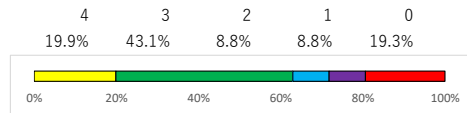
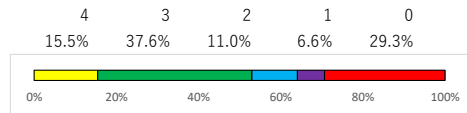
項目 6 学校は、学生が抱える多様な問題に対して適切な指導を行っている。



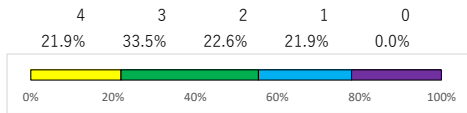
項目 7 授業中、うるさくする学生は迷惑である。



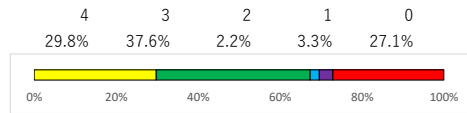
項目 7 学校は、教育方針や教育目標などを解りやすく伝えている。



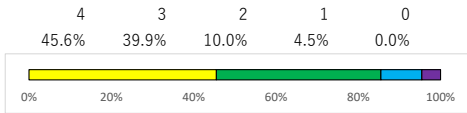
項目 8 家庭学習（予習・復習）を行なっている。



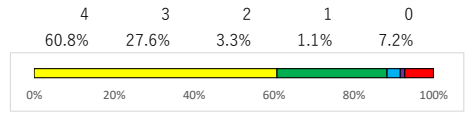
項目 8 交通安全を心がけ、交通ルールを守って登下校する指導を行っている。



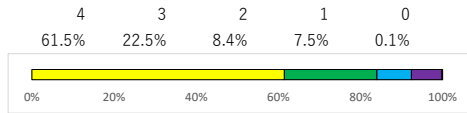
項目 9 授業の内容に対して、興味・関心を持つ事が出来た。



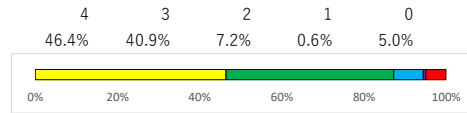
項目 9 校舎・実習場の設備が整っている。



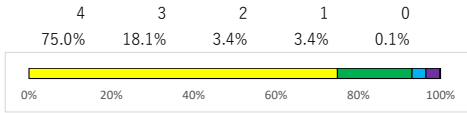
項目 10 毎日、遅刻・欠席・早退しないよう学校生活を送る事ができた。



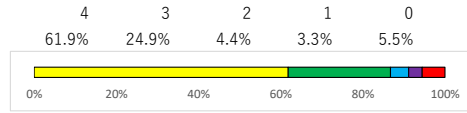
項目 10 楽しそうに学校へ通っている。



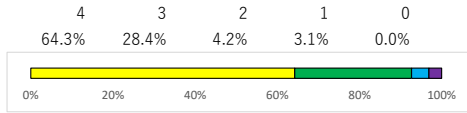
項目 11 交通安全を心がけ、交通ルールを守って登下校することが出来た。



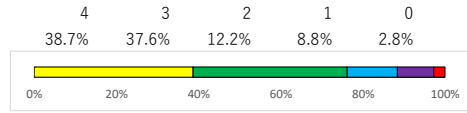
項目 11 毎日遅刻せず、きちんと学生生活を送っている。



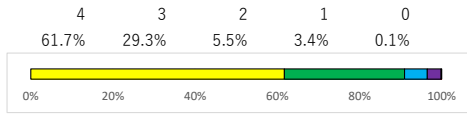
項目 12 挨拶など、礼儀正しく出来た。



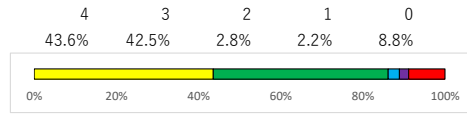
項目 12 学校からの連絡を、きちんと伝えている。



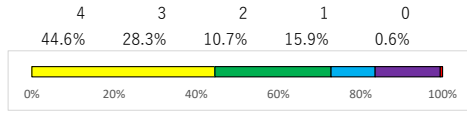
項目 13 毎朝のホームルームでの連絡等がきちんと伝わっている。



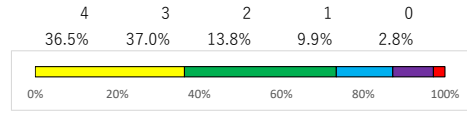
項目 13 クラスメイトと上手く付き合っていると思う。



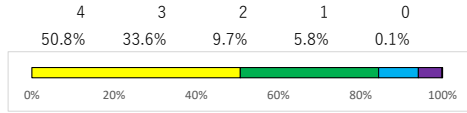
項目 14 学校からの連絡を、きちんと保護者に伝えている。



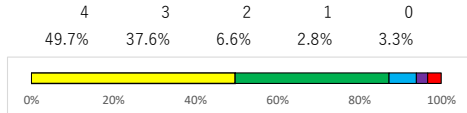
項目 14 家族に学校での出来事を話してくれる。



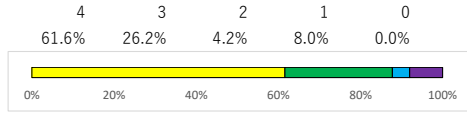
項目 15 悩み事や相談事について、担任に相談しやすい。



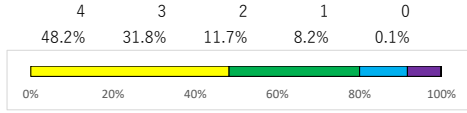
項目 15 全体として、学校生活は有意義に過ごせている。



項目 16 自分の悩みを話せる友人がいる。

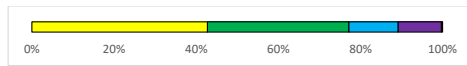


項目 17 クラスの中に居るとほっとしたり明るい気分になれる。

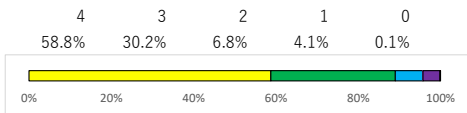


項目 18 教室内は勉強に集中できる環境となっている。

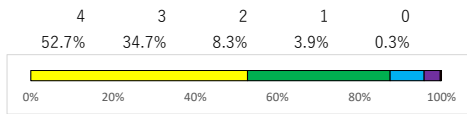




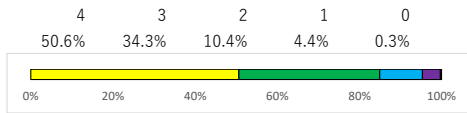
項目 1 9 校舎・実習場の設備が整っている。



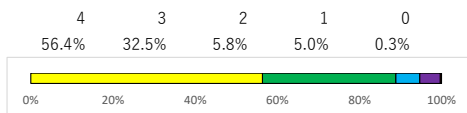
項目 2 0 実習教材が十分整っており、活用されている。



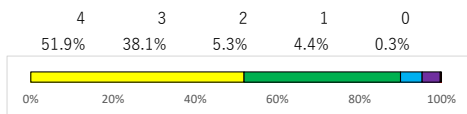
項目 2 1 校舎内外の清掃が行き届いている。



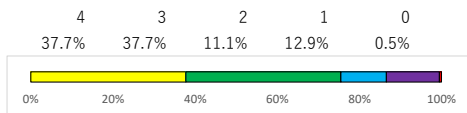
項目 2 2 就職活動を適切に指導してくれる。(1年生は除く)



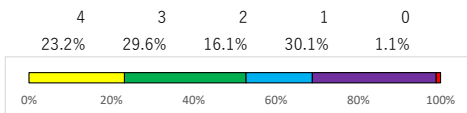
項目 2 3 就職先の情報が、すぐ手に入りやすくなっている。(1年生は除く)



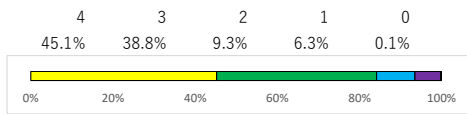
項目 2 4 学校行事に参加するのは楽しい。(1年生は除く)



項目 2 5 学校生活を有意義に過ごせるクラブ・行事が充実している。(1年生は除く)



項目 2 6 全体として、学校生活は充実したものとなっていると思う。



令和2年度生徒、保護者の学校評価に対する現状及び課題と今後の取り組み

1. 学生評価

・現状及び課題

教育理念目標、教育活動、学習評価、学生支援及び教育環境に関し、全校生（新入生を除く）によるアンケートを実施、昨年度同様、概ね教職員評価に沿ったものとなっており、教育活動は良好と判断しており、明確な方針の基、継続実施している。

・今後の取り組み

指導基準に基づいたカリキュラムに沿った授業を行っているなか、進捗度合いに少数ではあるが温度差が見受けられ、補習授業等を取り入れ豊かな感性を備えられる学生を育てることに傾注しており、継続実施している。

2. 保護者評価

・現状及び課題

教育活動、学習評価、学生支援、教育環境に関し、全校生（新入生を除く）保護者によるアンケートを実施、昨年度同様学校生活は有意義に過ごせており、良好と判断している。少数意見として学校生活の内容等、保護者とのコミュニケーション不足が感じられる部分が見受けられる。今後の課題として検討を図りたい。

・今後の取り組み

教育活動については概ね三者良好と判断するも、本校の教育活動の内容を保護者への直接、または学生を通じて報告する機会を増やしていかなければならない